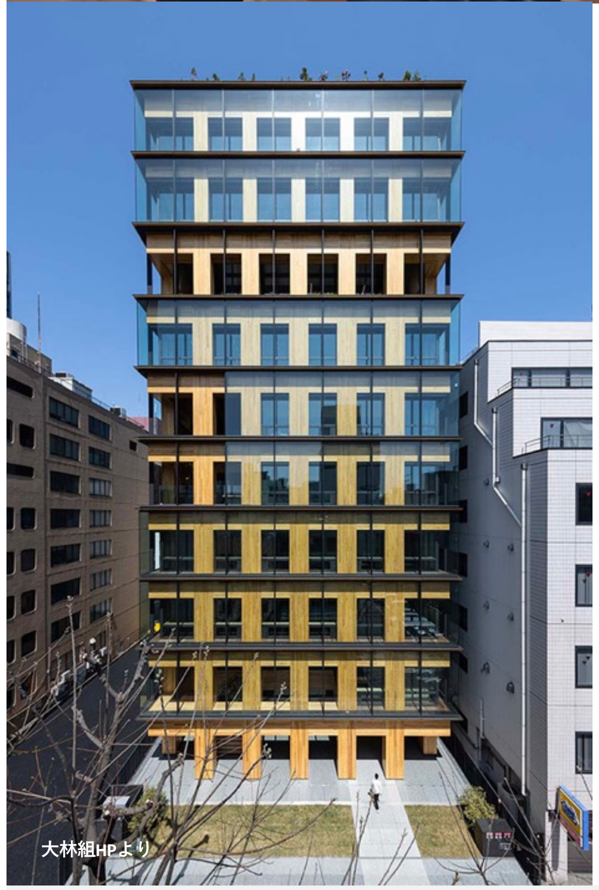
Port Plus（神奈川県横浜市）

おおぐろの森中学校（千葉県流山市）

木材活用／環境配慮／SDGs／工期短縮…

CLTがかなえる未来



大林組HPより

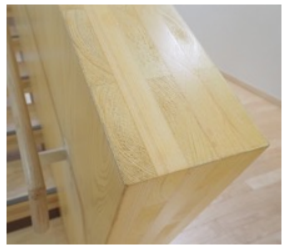
Port Plus

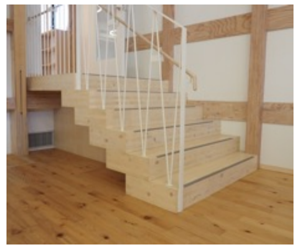
大林組の研修施設で、高さ44mの日本初の高層純木造耐火建築物です。同社は、循環型資源である木材の利用拡大・促進による持続可能な社会の実現をめざして、木造建築の普及に積極的に取り組み、Port Plusでは約2,000㎥の木材を使用。そのうちの620㎥が、西条市のサイプレス・スナダヤ製造のCLTです。サイプレス・スナダヤは木材製品を一気通貫で生産し、国内最大級のCLT原板製造設備を持ち、大林組のサプライチェーンマネジメントの中で、木材流通の川上部分を担います。CLTは床、壁などに使用され、ほとんどが内装材等に覆われて直接は見えませんが、当施設から排出される二酸化炭素の削減や、炭素の貯蔵、工期短縮などに貢献しています。

所在地：神奈川県横浜市中区
竣工：2022年
設計・施工:株式会社大林組
規模：地下1階、地上11階（高さ44m）
評価：令和4年度 木材利用優良施設等コンクール 国土交通大臣賞

おおぐろの森中学校

過去10年で約5,000人増と、人口が著しく増加している流山市。小中学校の需要も増え、開校やリニューアルラッシュが続いています。「おおぐろの森中学校」は「高台の緑に溶け込む 森の中の木の学び舎」をコンセプトにつくられ、近隣の「おおぐろの森小学校」とともに、カーボンニュートラルを目指し多様な木材を利用。木造3階建ての小・中学校全体で合計6,000m³の木材を利用し、約5,100tの二酸化炭素を固定します。このうち中学校の木材使用量は約3,500m³ で、そのうちの767m³がサイプレス・スナダヤ製造のCLT。階段や教室の天井、張り出し、外壁に使用されています。一般サイズのLVLや製材等も用い、RC造と同等のコストで実現したそうです。





所在地：千葉県流山市
竣工：2022年
設計：株式会社日本設計
施工：株式会社奥村組
規模：地上3階　塔屋1階
評価：令和４年度 木材利用優良施設等コンクール　内閣総理大臣賞

大林組『Port Plus』『WOOD VISION』について、
詳しくはこちらをご覧ください

Port Plus HP
OBAYASHI CORPORATION

WOOD VISION HP
OBAYASHI CORPORATION

CLT 活用のためのお問合せ窓口

【国】内閣官房「CLT活用促進のための政府一元窓口」
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/cltmadoguchi/index.html

【愛媛県】
・県庁 農林水産部 森林局 林業政策課 木材流通戦略係　TEL: 089-912-2589
・東予地方局 農林水産振興部 森林林業課　TEL: 0898-68-7438
【西条市】西条市役所 農林水産部 林業振興課　TEL: 0897-52-1504

西条市